

3. メンバー自己紹介

Aさん： 私は「土佐を元気にし隊」の代表をしていますAです。本日の司会進行を行います。

メンバーは、市内全8地区から様々な業種で活躍している30歳代から40歳代の元気な若者の集まりです。今後ますますメンバーの輪を広げていきたいと考えています。会としての活動はまだ始まったばかりですが、それぞれのメンバーが地域を元気にしたいという気持ちを持っており、メンバーの元気、やる気を集約し、地域貢献に努めていきたいと考えています。

それでは、メンバーの自己紹介に移りたいと思います。

私は、戸波で40数年、木を螺旋状に削った緩衝材を作っています。昔は一番適しているということですずっと赤松でしたが、最近はエコ、環境ということで桧の間伐材を利用して作っています。それと、土佐市の商工会の総務委員をしています。

Bさん： 隣の北原で陶芸教室をしています。市外に出向いて、出張陶芸教室や各種イベントにも力を入れています。作家としては、薪の窯を作っているところで、ゆくゆくは個展等で発表したいと思っています。私自身の夢の一つに、焼き物を通して地域の活性化につながるイベントをしたいと常々考えています。

Cさん： 波介に会社を構えて、主にテント製造や施工、イベント会場や式典会場などの会場設営をしています。土佐市には、おいしい野菜、きれいな花、おいしい魚などがあるにもかかわらず、なかなかPRできないので、このような名産を広げていける様々なイベントをやっていければいいと思っています。

Dさん： 機械漉き、土佐和紙製造業で、基本的に天然素材のみで土佐和紙を作っています。プリンターも通せる和紙の製作も行っています。

ゴスペルメンバーとして、ゆくゆくは土佐市の花火大会や大綱まつりやいろいろなイベントでもオープニングステージを飾らせていただきたいと思います。

Eさん： 宇佐で鯉節屋をやっているEです。土佐市商工会宇佐支部青年部の部長もやっています。宇佐では、花火とか大鍋まつりなどのイベントがありますが、その中で青年部やいろいろな方が着ている宇佐もんTシャツが自慢です。

Fさん： 戸波で魚屋と皿鉢料理の仕出しをしているFです。戸波地区は、うつぼのタタキの発祥地です。100年ぐらい前に個人の方が考えて、魚屋さんに教えたと聞いています。

Gさん： 私は、8年ほど前に県外からきました。妻の実家の家業の干物屋をやっています。宇佐にはきちんとしたおみやげ物屋が一つもないという状態でしたので、「宇佐

とはこれだっというものを皆さんに提案できる場を作りたい」と思い、3年ほど前に宇佐の情報発信という意味で「土佐えいもん広場」というホームページを立ち上げました。

Hさん： 観光業のHです。最近ツアーを独自で組んでこちらから提案していく、そしてこちらが人を集めて、お勧めするところへお連れすることに力を入れたツアーをやっています。

Iさん： 商工会青年部部長のIです。青年部員は「土佐市大綱まつり」の実行部隊として、大綱の製作から祭りの運営等に取り組んでいます。大綱は不織布という地場産品、紙の大綱で取り組んでいます。実際編み上がったときには長さ80メートル、最大胴回りが一番太いところで約2メートル、重さが1.2トンあります。一束がちょうど8キロほどあり、それを150束使います。

Jさん： 社会福祉法人のJです。施設の自慢のもの、一つがEMボカシ肥という堆肥です。これを生ごみと混ぜて土に埋めると有効で安全な堆肥ができます。この堆肥で野菜を作って、給食センターで活用していただいています。

作業では、紙布織りがあります。紙から糸を紡いで作ったもので、色は草とか木など自然のものを使い染色します。他に、おからクッキーも作っています。

Kさん： 宇佐で釣具屋をやっています。商工会の観光委員会で副委員長もやっています。委員会で今年「土佐市のまちあるきマップ」を作りました。これは、土佐市を大きく四つの地域に分けて、店舗はもちろん、各地域の見どころ、穴場スポットなどを紹介しています。

Lさん： 土佐市の商工会 観光委員長のLです。先ほどのマップも一緒に携わって作りました。仕事は宇佐で鯉節を作っています。鯉節を持ってきて削ったら良かったなど、今になって後悔しています。

Mさん： 土佐市新居で木材の製材業及び製品の販売等をやっています。商工会の勉強会がきっかけで、5年くらい前からブログを発信しています。プライベートや仕事のこと、地域のイベント、見どころ、おいしいものなどの情報も加えながら発信しています。

Nさん： 土佐市唯一の酒蔵のNです。今年4月に「小夏リキュール」を新発売しました。土佐市産の小夏果汁を使用し、日本酒ベースで作ったリキュールです。全国の方に飲んでいただき、相乗効果で小夏自体を知ってもらい、馬路村のユズのように有名になればいいなと思っています。

○さん： 土佐市高岡で土佐和紙を製造しています。販売の主流は、全国各地の和洋菓子、果物の敷き紙とかラッピングペーパー、袋などの包材です。高知県で作られる産物と一緒に県外へ包装して発信していきたいと思っています。

Pさん： 土佐市の戸波でユリの栽培をしています。土佐市はユリの栽培が盛んで、年間20万本ぐらい出荷しています。戸波には、文旦をはじめ生姜、小夏、新高梨といいものがあるのだから、何かしないといけないということで、今回参加をさせていただきました。

Qさん： 土佐市戸波で、土佐文旦を生産・販売しています。土佐市が土佐文旦発祥の地ですが、さらに細かく言うと宮の内が発祥の地です。小さな地域ですが、文旦栽培メンバー20軒の農家を集めて、「文旦王国・宮の内」という団体を作っているいろいろと取り組んでいます。